

INFORMATION

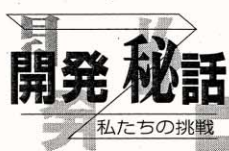
ジェットタオルの開発秘話が新聞で紹介されました。

6月14日(月)～18日(金)の5日間、産経新聞夕刊(関西)「開発秘話 ～私たちの挑戦～」欄においてジェットタオルの紹介記事が連載されました。その紙面を前月号(7月5日配信)と今回の2回に分けて掲載しています。今回はその後編です。



手の挿入部の底には排水穴がある。その大きさひとつにもノウハウが詰まっている

■三菱電機 ジェットタオル③



「あの時はがてきなか
くらい飛った。みんな感
服から逃げ出しました」
辰谷俊郎がエピソードオ
の片開陳が、今も順調に
合せて音楽を思い出す
あ。手は面がらシラツキ
風で吹き荒はされた後
手の挿入部底に落下す
水をどう処理する、試
錯誤して、この上は
た。

「手洗いのきれいな水
だから大丈夫。熱で乾か
ばいい」
みんな、そう軽く考
えたら、さぞやバツ
実験したら、奥のなん
の。いくら洗浄後はい
え、水には脂が言われ
ていたのだ。

「おれは、簡単に、タ
補給が出来た実験はな
すに」
超音波では、飛き残す
なもあつたが、脂を
大分を飛ばして、最終
め、これを飛ばす。こ
には挿入部、底に非
開け、タンクに集め

クレーム対応でノウハウ蓄積

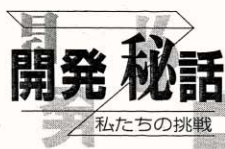
と云ふ。□ □
ところが、平成五年、第一号機を発売すべし、モータ用製作内に設置したジェットオルタルが故障の起した。相前年より少しバチコホルなる納先から、同様のクレームの電話が鳴出した。
辰谷は品質管理の担当として出向き、頭を下けて回ると、排気弁をとり、衣類の繊維や人毛などが付着していた。詰まりを想像して実験してみたが、事実上は成功しなかった。
際の利用者の交際はそれぞれに任せてバラエティーに富んでいた。実験で十分満足していた。長谷十平、短居思っていた。排気の不良品の積りに悩まされた。「ただ、そうしたクレームはメーカも、逆言では苦手なアメリカの強なりだ」と予想できながら現実を知りぬるため、新しい実験設備を整へた。ウハウホを獲得して、新パシオンでは決して負いものになるまい。」
上の非水はバチン玉も通過できるほどの円形になった。
「バチン玉店に設置されるはずだがバチン玉がある人はほとんど、現在、ジェットオル開業後三ヶ月を務められ、良童三、現場の声反映し続けたジェットオルは今、七代目を見たい。

— 戦略 —



「ノズルの樹脂プレートは何枚も作りました」という堀井智彦

■三菱電機 ジェットタオル④



食品工場、オーストリ
リア、駅、競馬場、平成一
年にジャック・ソンの第
三巻を発売する一年は、前
から、開隆社・月の長俊
郎、堀井智雄、現・シニ
ータオル開発課主任、エ
は、売り込み先をリスナー
アップした。その中で話題
たのがホスト、その中、

「手をれて五秒」の速
乾性能は、初から高、評
出する騒音は、第二層が
ベルな、静かな環境で
は、厳しいベルだった。

実は試作段階では、
高いハの音だった。五
間聞いて、その体調が
てしまふ。早く部屋から

ノズル工夫、「より静かに」

た。かゝる「オ」(畑井)。発音するに七つ、八つ、九つと、相当の音を連したてると、相當の努力の結果、土振返る乾燥能を維持しつつ音を下げるのは難題であつた。

シエッタオルの騒音源は、まずシエッタ風が、これに基本的な音が、これが基本的なところである。吹さうとして、方向をかき出す。上から下へ、右から左へ、風が出るスルの形状、配置を検討し、風の多かつ少、音の低減をはかった。

「風を前後左右に遠く吹き出させ、あつぱらになつていなくなるまで、風が離れなくなるまで、手がつかない。上から下へ、右から左へ、互違ひにする」ことが必要でしたと最長で三つの初期設計がたゞまわの初稿書かれた。スラの長さ板厚に、ノズルの長さ伸ばす。これ風の直线性を高め、風の這り方を微調整した。

スラの聲や間隔を微妙に変化させた実験用樹脂版は「五枚は試作しました」(畑井)。

最新機種は、スラの穴径四つと、それより一〇五分だけ長い「六」径大風がたつ方が、遠くまで風速が落ちません。吹き出し時の風速を上げて、音を上げて、乾燥性を良く維持できそうですと久松電吉が説明す。最新八号機が出たエルキは、第二号機の四分の一しかない。

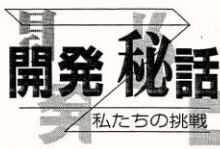
ホテルと病院に採用されたため、良や畑井は「静化への志未だ浅い」と話していても都那になんていふことを言にならぬ。――

一般戦略



ジェットタオルの現行機種。海外へも販路が拡大している

■三菱電機 ジェットタオル⑤



は平成五年（発売日、東映「ジョーズ」第1巻）の
「乾（みせ）ロケット」
という、新たな字彙の文
化に、開眼した。自然
と世に開けた。自
己確立に際するな
を送ることになる。

第1巻機油消費電力工
百、重量七¹/₂%。理
の「スリタビ」¹/₂と
消費電力で二倍、重量
一・五倍である。当
一の営業（「か
けない（責）をその販売
でさな）』『と冷た

そこで、この開発師が実践したのが中津川製造所の第2代所長、鴨川雄三（在任昭和二十九年）が確立した中津川精神である。

技術者自ら飛び込み営業

[illegible]